

茂串ポンプ場防災倉庫概要

場 所：四万十町茂串町 325-1 他

敷地面積：1031.83 m²

構 造：鉄骨造 2 F

建築面積：236.98 m²

延床面積：411.87 m²

平成 26 年8月の台風により四万十町中心部が浸水被害を受けたことにより、吉見川浸水対策として、平成 30 年度から令和2年度にかけてポンプ場の建設を行いました。また、西原分岐の排水対策として排水ポンプ車及び防災機材等の保管場所として大型防災倉庫の整備を行いました。

主な防災倉庫の内容としましては、鉄骨造2階建てで、延床面積：411.87 m²となっており、1 階は排水ポンプ車、B&G財団から支援していただいたバックホウ・タイヤショベル・スライドダンプ・水中ポンプ等の災害時に対応できる車両等を保管し、2階には、ポンプ場の監視場所と防災備蓄品（ペットボトル飲料水等）の保管場所として整備しております。

この防災倉庫の完成により、吉見川浸水対策の拠点となるものと考えております。

完成写真

